

# 共同PBL事業2022（合同PBLプログラム）

金城大学・金沢工業大学

## 【完全オンライン】2023年3月 大学生向けPBL合同プログラム

2023年3月2日(木)・3日(金)の日程で、「Collaborative Design Thinking Workshop」に、金沢工業大学・金城大学・北陸大学・金沢学院大学・金沢学院短期大学をオンラインでつなぎ、各校の学生16名が参加した。学生同士のやり取りは、自由に動いて話しかけられるバーチャル空間「oVice」を中心にオンライン上で行われ、学生たちは様々な課題に取り組んだ。

参加学生は「大学での学びのスタイルをピボット\*1する」をテーマに「Design Thinking」を通して、ユーザー視点に立ち、課題を解決する手法を学んだ。その結果、「学習スケジュールを管理できるアプリを提供してもらい使用する」、「学習した時間をポイント化し、そのポイントを学内で食事等で利用できる」、「多国籍なサークルを作る」等の様々な意見が挙がった。また、今回の活動から他大学の学生とチームを組み、他者との意見や視点の違いから自分自身を理解し、他者にそれを効果的に伝える方法を探索していた。

\*1 ピボット：エリック・リース著「リーン・スタートアップ」にて、「ピボットとは、製品やビジネスモデル、成長のエンジンについて、根本的な仮説を新たに設定し、検証するための行動である。」と記載されている。海外のビジネスシーンではよく使われ、大事な部分をそのままに、変化を起こし、状況を好転させるような行動を表す。



Zoom等を活用したチーム活動の様子

### （使用したDXツール）

- ・ SmoothSpace（全体説明・プレゼン）
- ・ Zoom（チーム活動）
- ・ oVice（チーム活動でのバーチャル空間）
- ・ KandaoMeeting Pro（360度カメラ）
- ・ Google Slides